

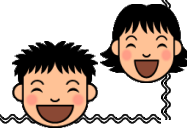
西校だより

校訓
◎にこにこ ◎はっきり
◎しっかり ◎まごころ



確かな学力を身に付け、
心豊かにたくましく生きる児童の育成

- ・自ら学ぶ子 (知)
- ・思いやりのある子 (徳)
- ・きたえる子 (体)



熊谷市立熊谷西小学校 10月号
平成29年9月22日

手話教室実施!

10/27(金)、埼玉県主催「平成29年度手話普及リレーキャンペーン」として本校体育館で手話教室が開催されます。広く県民の手話への関心と理解を深め、手話を身近に感じるためのきっかけづくりとして、また、手話による文化芸術活動等の発表の場として、県内4地域を巡るリレーキャンペーンです。その4地域の中の1校として本校で開催されることになりました。実施される内容の一部を紹介します。

【内容】

- ① はじめての手話教室
キャラクターと一緒に「あいさつ」や「名前」など簡単な手話を学びます。
- ② 手話による文化芸術活動のステージ発表
県内で活動するグループのステージ発表を鑑賞します。
- ③ 手話学習資料
資料をもとに「はじめての手話講座」を学びます。

【日時】 平成29年10月27日(金)

午前9:45～午前11:30予定

【場所】 熊谷西小学校体育館

【備考】 スリッパの用意をお願いします。
自動車での来校はできませんので徒歩又は自転車での来校をお願いします。

ご承知のように、本校は「特別支援教育は教育の原点である」ということを信念に、日々の教育活動に努めています。また、学校研究の一つとして教材開発や具体的な実践に取り組み、「インクルーシブ教育の実践」として、埼玉大学や国立特別支援教育研究所、臨床心理士やカウンセラー等と連携を図り、4年目をむかえています。

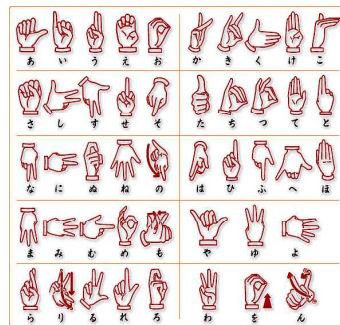
「インクルーシブ教育」とは、特別な支援が必要な児童生徒の一人一人の教育的ニーズを把握して、適切な指導を通じて支援を行うとともに、特別な支援が必要でないに関わらず実態に応じて、学習や学校生活を主体的に送らせるための支援教育です。「人は、一人では生きていけない」という言葉どおり、私たちは、多くの人から様々な支援を受けています。すばやく読み取り行動に移す児童がいれば、時間をかけてゆっくり考えてから行動する児童もいます。

研究では、個別の支援計画を立て、どのような支援をいつ、誰が行うことが適切なのか、具体的に助言した方がわかりやすい教材は何か等に取り組んでいます。専門家からは、個別の支援体制は、早い時期(低学年)から行うことが重要であると同時に効果的であることを学び、少しずつではありますが教育活動に活かしています。

「今、一番困っているのは目の前の児童である」の考え方に立ち、熊谷西小の教職員として、何ができるのかを考え、今後も引き続き日々の教育活動に取り組んでまいります。

本事業は保護者や地域の皆様方も参加できますので、ふるって参加ください。

※ 自転車乗車中は、必ずヘルメットをかぶりましょう。



9月の学校生活の様子を紹介します!



【毎日の清掃「膝つき 無言清掃」すみずみまでキュッ!キュッ!】



【応援合戦声だし競争】

※ 自分の命は、自分で守るため、交通ルールを守りましょう。

10月の行事予定

日	曜	行 事 等
1	日	-----
2	月	ハートフル学級
3	火	
4	水	陸上フェスティバル(6年) 給食なし(全学年お弁当)
5	木	
6	金	生活科見学(2年) ヘルマーク
7	土	大里地区科学展(川本北小) --
8	日	-----
9	月	体育の日 -----
10	火	ハートフル学級
11	水	B日課5時間
12	木	B日課5時間 【大島めぐみ選手来校】
13	金	B日課5時間 陸上フェスティバル(6年)予備日
14	土	-----
15	日	-----
16	月	
17	火	JRCの日
18	水	
19	木	前期・はっきりステージ終業式 給食なし
20	金	秋季休業日 -----
21	土	埼玉教育ふれあい賞授賞式 -----
22	日	衆議院議員選挙予定 -----
23	月	後期・しっかりステージ始業式 給食あり 一斉下校
24	火	就学時健診 3時間下校(1~5年給食なし)
25	水	生活科見学(1年)
26	木	クラブ
27	金	手話講演会(3~6年)
28	土	-----
29	日	-----
30	月	
31	火	【創意工夫展出品作】

今年も茶道教室体験学習を実施します!

茶道教室を実施して3年目を迎えました。1年目は6年生の体験学習でしたが、2年目から1年生から6年生までの全児童が体験することで、お抹茶をいただくことだけでなく、様々な作法と一緒に学ぶことができます。

ご案内のように、「茶道」は日本の伝統文化の一つで、歴史上の人物「千利休」は代表的な茶人です。本校の学校経営方針の中のひとつに

「守・破・離」の考え方をもち、特性と創造性を発揮し、組織的な活動を通して学校教育目標を具現化させ、学力日本一を目指すをあげました。ここにある「守・破・離」について改めて紹介します。

「規矩作法を守りつづけて破るとも離るとても本を忘るな」

これは、ご存知の千利休「利休百首」の百首目です。「お茶の規則や作法をよく守ること。そして臨機応変にこれを破り、さらにそこから離れることだ。そのためには、もとの規則や作法を忘れてはならない。」というような教えだと理解しています。茶道に限らず、教育の道として学校でも同じです。社会人としての大人のもと、小学校教育にあると考えています。

今後も引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いします。

